


















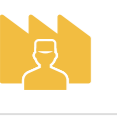



























カテゴリ	重点分野	重点項目	目指す姿	特に貢献を目指す SDGs	2021年度目標	管掌 C×O	関連ページ
不二製油グループの事業特性を活かし、業界を牽引する取り組みを創出する領域	1 食の創造 	食資源不足へのソリューション提供	・ 将来懸念される食資源不足への解決策として、動物性タンパク、乳製品を代替する環境負荷の低い植物性食品素材の普及と代替技術の確立		・ 本格的な肉素材・食肉製品を目指したおいしい大豆ミート素材、食品の開発 ・ 植物性素材をベースとした Plant-Based ミルクの開発	CTO	食資源不足へのソリューション提供
		健康的な食の提供	・ 健康課題や生活の制限の解消によるシニアのウェルビーイングの実現		・ 高齢化社会の健康課題解決に寄与する次世代コア技術の機能性検証 ・ 高齢化社会におけるウェルビーイング実現に向けた取り組み計画の策定	CTO	健康的な食の提供
		糖質低減への対応	・ 食品の糖質の一部を植物性タンパク素材で代替し、生活習慣病の予防に資する栄養バランスに優れた食品の提供		・ 主食系食品のタンパク質比率を高める食品素材の開発（お客様の製品の糖質の低減につなげる） ・ タンパク含有量を強化した主食系食品素材の提供	CTO	糖質低減への対応
		トランス脂肪酸含有量の低減	・ WHO 指針および各国での法規制に基づいた、製品中のトランス脂肪酸含有量の低減		・ ウッドランド サニーフーズ（シンガポール）、フレシアバティ インドタマ（インドネシア）、ハラルド（ブラジル）：全ての製品のトランス脂肪酸を低減（2g-TFA/100g-oil 以下）	CSO	トランス脂肪酸含有量の低減
	2 サステナブル調達 	パーム油のサステナブル調達	・ サプライチェーン上における NDPE（森林破壊ゼロ、泥炭地開発ゼロ、搾取ゼロ）の達成 ・ 2030 年までに農園までのトレーサビリティ（TTP）100% ・ パルマジュ エティブル オイルの全サプライヤーに労働環境改善プログラム（LTP ^{※1} ）を適用し、2025 年までに完了	  	・ 搾油工場までのトレーサビリティ（TTM）：100% ・ 農園までのトレーサビリティ（TTP）：73% ・ 衛星写真による森林破壊防止のモニタリングの定期的実施と、その結果としてサプライチェーン改善活動やグリーンパンスリストの対応を推進 ・ パルマジュ エティブル オイル（マレーシア）における労働環境改善プログラムの適用	CSO	パーム油のサステナブル調達
		カカオのサステナブル調達	・ 「責任あるカカオ豆調達方針」の推進 ・ 2030 年までにカカオ栽培地域に対して 100 万本植樹 ・ 2025 年までに ILO の定める「最悪の形態の児童労働（WFCL）」ゼロ	    	・ ガーナでのカカオ栽培地域に対する植樹 10 万本 ・ カカオ農家の GPS を使ったマッピングによる透明性の向上 ・ ガーナのカカオ農家 2,350 軒を対象とした支援プログラムの実施 ・ プログラム参加農家における児童労働のモニタリング実施に向けた家族状況などの把握の開始 ・ GAP ^{※2} の導入による農業支援と、生産されるプログラム豆の日本およびアメリカへの導入	CSO	カカオのサステナブル調達
	大豆のサステナブル調達（GMO 問題含む）	・ 大豆および大豆たん白原料におけるサステナブル調達の推進	  	・ トレーサビリティ目標・KPI の設定（2021 年 6 月に設定済み） ・ 2030 年目標における「コミュニティ」の定義の確定	CSO	大豆のサステナブル調達	
事業活動の基盤として取り組む領域	3 食の安全・安心・品質 	食の安全と品質の徹底	・ 製造される全ての製品において、自社が原因となるクレームゼロ		・ 重大品質クレームゼロを実現するための従業員の品質意識向上 ・ 品質担当者が直接アクセスできる品質情報プラットフォームの利用推奨と品質担当者間の関係強化	C“ESG”O	食の安全と品質の徹底
	4 労働安全衛生 	労働安全衛生の推進	・ 人間尊重および安全第一を最優先とし、「安全で快適な職場」づくりによって全グループ会社で災害ゼロ	 	・ 指差呼称の導入および啓発活動の継続と定着のための施策の検討 ・ 危険予知訓練の有効性の理解を促進する活動の継続 ・ VR（バーチャル・リアリティ）を利用した安全体感機器の導入など、安全意識の向上に役立てる取り組みの開始	C“ESG”O	労働安全衛生の推進
	5 気候変動の緩和と適応 	CO ₂ の排出削減	<環境ビジョン 2030> ・ 2030 年に CO ₂ 排出量（総量）をスコープ 1+2 で 40% 削減、スコープ 3（カテゴリ 1）で 18% 削減（基準年 2016 年） 注：SBT 認定取得	 	・ 環境ビジョン 2030 の社内浸透 ・ 環境監査を通じた CO ₂ 排出量の削減活動のレベルアップ ・ CO ₂ 排出量の削減戦略を立てやすい環境の整備（担当者がタイムリーかつ容易に CO ₂ 関連データを確認できるデータ収集のシステム導入、太陽光パネルの導入などの好事例の横展開） ・ スコープ 3（カテゴリ 1）削減活動として、サプライヤーに対するアンケート調査（エンゲージメント活動）の開始	C“ESG”O	CO ₂ の排出削減
	6 水資源の保全 	水使用量の削減	<環境ビジョン 2030> ・ 2030 年に水使用量原単位を 20% 削減（基準年 2016 年）	 	・ 環境ビジョン 2030 の社内浸透 ・ 環境監査を通じた水使用量の削減活動のレベルアップ ・ 水使用量の削減戦略を立てやすい環境整備（担当者がタイムリーかつ容易に水関連データを確認できる収集システムの導入、水のリサイクル方法やより水使用効率の良い装置導入などの好事例の横展開）	C“ESG”O	水使用量の削減
	7 資源循環 	廃棄物の削減	<環境ビジョン 2030> ・ 2030 年に廃棄物量原単位を 10% 削減（基準年 2016 年）		・ 環境ビジョン 2030 の社内浸透 ・ 環境監査を通じた廃棄物の削減活動のレベルアップ ・ 廃棄物の削減戦略を立てやすい環境の整備（担当者がタイムリーかつ容易に廃棄物関連データを確認できるデータ収集のシステム導入、動植物性残渣 ^{※3} の有効利用方法および産業廃棄物の有価物化の取り組み事例の横展開）	C“ESG”O	廃棄物の削減
		フードロスの削減	・ 技術イノベーションを通じたバリューチェーン上のフードロス削減へ貢献		・ 食品のおいしさ維持（鮮度延長）技術、二次加工（リメイク含む）技術の開発と提案	CTO	フードロスの削減
	8 環境に配慮したもののづくり 	製品・原材料の環境負荷低減	・ 環境負荷の低い原料の探索と新技術開発による環境ビジョン 2030 への貢献	 	・ 新規酵素油脂加工技術の実用化に向け、さらなる高効率化と環境負荷の低減を実現する製法の確立 ・ 粉末状大豆たん白製品の環境負荷に関する現状調査の実施、およびライフサイクル全体での環境負荷低減のための戦略立案	CTO	製品・原材料の環境負荷低減
	9 DE&I ^{※4} 	ダイバーシティ経営の実践	・ 会社で働く仲間の基本的な人権、多様性、人格、個性を尊重し、差別や嫌がらせのない、働きがいのある職場づくり	  	・ 不二製油グループ憲法の浸透 ・ 各地域の課題認識や活動状況把握 ・ 次期・将来の経営人材の選抜と育成 ・ 日本人駐在員ポストの現地化推進 ・ グローバルビジネス環境にフィットする海外幹部候補の養成 ・ 日本：多様な働き方の促進 ・ 日本：公正さの確保 ・ 日本：障がい者の長期活躍の支援	CAO	ダイバーシティ経営の実践
	10 GRC ^{※5} 	リスクマネジメントシステム	・ リスクに強く、社会からの信頼を獲得する高信頼性企業の実現	 	・ 全社重要リスクの適正な管理と、ステークホルダー視点の分かりやすい情報開示 ・ TCFD 対応として、グループ内で適正な気候変動リスク・機会の選定、対応策の落とし込みを行うための実用的な気候変動シナリオの作成と情報開示	C“ESG”O	リスクマネジメントシステム
		情報セキュリティマネジメント	・ ICT（情報通信技術）によるプロセス改革と企業価値創出 ・ 安全・安心な ICT 活用によるグループガバナンス実現への貢献		・ リスクトレンドを反映した「セキュリティ内部監査」の継続と監査対象システムの IT 部門管轄までの拡大	CFO	情報セキュリティマネジメント
コンプライアンス		・ 公正かつ透明性を持った事業活動を行い、全てのステークホルダーから信頼される誠実な企業		・ 地域統括会社またはその傘下のグループ会社への法務担当者の設置による、不二製油グループ本社の法務部門との連携強化 ・ 各地域統括会社またはその傘下のグループ会社でのコンプライアンス管理に関する自己点検の実施と、不二製油グループ本社の法務部門における点検結果の評価 ・ コンプライアンス研修の実施	CAO	コンプライアンス	
グループガバナンス		・ 有効なグループガバナンス体制の構築を通じた企業価値の向上		・ グループ方針改訂による不二製油グループ内の「経営の監督」と「経営の執行」の責任・権限の明確化 ・ グループ憲法の浸透、グループ戦略の徹底のため地域統括会社とのコミュニケーション方法の再設定 ・ 経営の執行状況の確認（実行モニタリング）における内部監査グループとの連携強化	CSO	グループガバナンス	
コーポレートガバナンスの向上		・ 取締役会の適正な運用を通じた企業価値の向上		・ 経営の監督（モニタリング）機能に主軸をおいた取締役会運営の定着	CAO	コーポレートガバナンスの向上	

※1 LTP：Labour Transformation Programme。

※2 GAP：Good Agricultural Practices（農業生産工程管理）。

※3 動植物性残渣：おからや製品サンプルなどの廃棄物。

※4 DE&I：ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン。

※5 GRC：ガバナンス・リスク・コンプライアンス。